

令和5年度 第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会
要点録

日時：令和6年1月25日（木）午後1時30分～3時30分

場所：多摩市立中央図書館 活動室2・3

出席：えほんの会、おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、The Witches、
多摩おはなしの会（代理出席）、多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、
布の絵本サークルピエロ、もりの文庫

欠席：ひなたぼっこ

開会

（事務局）

（活動室の使用規定について横倉館長より説明）

- ・中央図書館基本構想にある「図書館は知の地域創造の拠点」として市民の様々な活動の支援が必要だとされた。そのため活動室もこれまでとは異なり、「読書活動として登録した団体の使用」から「広く市民の方へ使用してもらう」運用へと変更した。
- ・広く利用するため、コミュニティセンターや公民館等との整合性を図りながら運用方法を検討し、有料貸出とした。
- ・開館においてあわただしく、説明会の開催ではなく郵送での連絡をした。
- ・図書館で市民活動を行っていくなかで、かねてより読書活動支援等がかかわってもらった団体へは引き続き部屋を利用させていただく必要があるとして、使用料を徴収せず図書館が部屋を提供する仕組みを別途作成した。「多摩市立図書館活動室等実施要綱」である。
- ・要綱に則り申請すれば、図書館で内容を確認後、使用料なしで活動室利用できる。
（例：市民を対象としたおはなし会、読書会、朗読会、講演会、展示会等（事業における準備・練習も含める））

（もりの文庫）

- ・定例おはなし会の申請について、関戸図書館では活動室申請と一緒におはなし会の日程も申請しなければならない。おはなし会は図書館から依頼されて実施しているという認識だが、そのおはなし会日程までなぜボランティア団体が記入しなければならないのか。
- ・おはなし会の練習は、具体的なリハーサルだけでなく、おはなし会を実施するレベルを維持するための日々の練習がある。目の前のおはなし会だけでなく、年間を通して図書館が求めるであろうレベルを維持するための練習という感覚がある。そのためおはなし会1回に対して練習1回というのは違和感がある。その感覚を図書館にもわかってほしい。

(事務局)

- ・今回の調査ではおはなし会の日程も書いてもらったが、これはおはなし会1回につき活動室1回というルールを確認・実行するためである。活動室とは別におはなしのへやも2回まで使用できるため、そちらも利用してほしい。
- ・先述の要綱における「読書活動支援事業」は定例おはなし会とは別であり、定例おはなし会は図書館が主催するものである。そのため図書館が市の事業として活動室を利用する。
- ・活動室の前提が有料であるが、その中で活動室を確保するためにおはなし会の情報をもらう必要があるため、調査を依頼した。手続きのやりやすさについては今後検討する。

(もりの文庫)

- ・申請がおはなし会のためではなく確認のためであるなら、用紙の書き方等考える余地はあると思う。
- ・準備という形で練習を1回2回…という問題ではないことは分かってほしい。

(つくしんぼ文庫)

- ・1回のおはなし会につき1回の練習という考え方が違うと分かってほしい。
- ・前回話題になった市民全体に向けた説明会はしないのか。

(事務局)

- ・運用がはじまっており図書館HPでも公開しているので、今のところ説明会開催の予定はない。
- ・周知の必要性は理解しているため、掲示等で対応したい。

(おはなしチャチャチャ)

- ・定例おはなし会について、1回のおはなし会につき1回活動室3が可能なのはわかった。
- ・講演会等については、別途申請をすればそれとは別に無料になるということか。

(事務局)

- ・回数の具体的な決まりはないが、講演会等の準備として活動室が必要であれば、申請書に記入してもらえればいい。

(おはなしチャチャチャ)

- ・部屋の使用希望日までの時間的にゆとりがない場合もある。申請してから許可が出るまで短時間ではできないのか。

(事務局)

- ・事業の実施日6～3か月前に申請が必要である。これは、活動室のシステム上での予約が始

まる前に部屋を確保する必要があるためである。このような使い方でないと、広く市民全体に使ってもらえない。

(コアラ文庫)

- ・団体としての講演会や養成講座などは早めの企画が可能である。しかしおはなしチャチャチャさんが言われたように、市内での日常の読書支援活動に対する練習場所が有料になるのはおかしい。図書館サービスが届かない中で我々が活動していて、そこに利便を図るのは図書館の役割であると考えます。
- ・他団体がおはなし会団体だけが優遇されているという印象を持っているならば、それに対し図書館が説明をする必要がある。
- ・図書館の児童サービスの一環としてボランティアの力を借りて実施しているという歴史・関係がある以上、それは特別扱いではないと思うし、その説明を市民にしてほしい。部屋が空いていれば融通を利かせてほしい。活動は広がっているなので、臨機応変な対応をしてほしい。

(えほんの会)

- ・我々の活動は図書館の活動に関係している。そのような活動をしている団体に対し「図書館の貸室」として利便を図るという姿勢がほしい。

(もりの文庫)

- ・図書館でのおはなし会だけが図書館の児童サービスではなく、幼稚園等の市内施設に行くなかでボランティア団体が担っていく部分がある。その活動のための準備を認めてほしい。
- ・イベント的な数か月先のことでなく、突発的に直近の活動日が決まるので、まずはその状況を図書館に認知してもらう必要がある。

(事務局)

- ・活動室の基本の仕組みとしては有料、支援事業・図書館おはなし会としての貸出は無料。
- ・以前とは部屋の性質が異なっている。直接読書活動に繋がらない市民活動もあるなかで、意見としてはわかるが、今後の仕組みとしては考えていくということしか答えられない。

(会長)

- ・今結論は出ずとも、このような活動・意見があるということで今後も発信していく。

(おはなしチャチャチャ)

- ・図書館主催定例おはなし会については1回のおはなし会につき1回の活動室利用だが、ほんともフェスタ等の特別おはなし会は除外されるのか。調査票には「定例」と書いてあったので除外されると理解した。「定例」なのか「図書館主催」なのか明記してほしい。

(事務局)

- ・ 前回各団体へ調査し、利用日を決定したのは「定例」についてである。特別おはなし会についてはその時点で決まっていなかったが、来年度は明記する。

(コアラ文庫)

- ・ 今は来年度のことについて調査があったが、3月のスペシャルおはなし会は既に決まっている。それについても今回の規定は含まれるのか。

(事務局)

- ・ 含まれる。前回の調査はあくまで来年度についてであった。

(つくしんぼ文庫)

- ・ 市民を対象とした講演会や講座については申請をすればいいのか。

(事務局)

- ・ そうである。

1 令和5年度第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録(案)の確認

(会長)

- ・ P4 発言者名を(多摩おはなしのかい)を(多摩おはなしの会)へ修正。

2 報告事項

(1) 令和6年度における市民ボランティア連絡会委員追加募集の周知について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(会長)

- ・ 他団体へ参加の声かけを求められても、事務局が把握している団体20団体が分からない。

(事務局)

- ・ 思いつく団体について教えてもらえれば、こちらでの把握の有無についてお答えする。募集締め切りである4月12日に間に合うように知らせてほしい。

(つくしんぼ文庫)

- ・今年度3月でつくしんぼ文庫という団体は閉める予定である。これまでつくしんぼ文庫として参加していたが、来年度の団体解散後も個人として会議に出席することは可能か。

(事務局)

- ・三次計画の設置要綱で市民ボランティア連絡会の設置について規定しており、参加者は市内のボランティア団体の代表者から選任としている。これに合致しなければ、参加できない。
- ・代表者の委任があれば別の代表メンバーが参加することも可能。

(つくしんぼ文庫)

- ・団体の人数には決まりはあるのか。

(事務局)

- ・明確な規定はないが、団体なので2人以上は必要である。

(2) 第15回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》開催内容について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(おはなしチャチャチャ)

- ・スタンプラリー台紙に書かれている図書館の名前とその他の説明が全て同じフォント・大きさになっていて分かりづらい。

(事務局)

- ・フォントはおそらくゴシック体を使用している。台紙作成は健幸まちづくり推進室が担当。
- ・既に印刷に持ち込んでしまったため、来年度の改善点とさせてほしい。

(会長)

- ・ほんともフェスタは夏に行い、展示のみ年度末に行うと聞いていたが、結局年度末にもスペシャルおはなし会を行うことになった。ほんともフェスタとはどうなっているのだろうかという気がする。
- ・市民ボランティア連絡会の回数も少なく、主催は図書館であるため、会議の場で意見を言っても間に合わないこともある。このような形式でいいのか疑問である。
- ・定例おはなし会の情報をスタンプラリーに載せてもらえて非常に良い。日常の方が本当は大

切であり、それらを充実させるためのほんともフェスタであったはずなのに、本末転倒になってしまっていたのではないかと思っていたが、このような形で載せてもらえてよかった。

3 意見交換

(1) 令和6年度多摩市立図書館おはなし会ボランティア活動の推進について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(文庫連絡協議会)

- ・ボランティア活動開始までの手続きについて、初級講座の内容と時間はどのようなものを想定しているのか。

(事務局)

- ・1回2時間を予定している。

(文庫連絡協議会)

- ・そのような短い時間で活動を認めてしまうのは反対。おはなし会についての基本の考え方はわかるだろうが、もっと回数・時間をかけて行う必要がある。

(えほんの会)

- ・中央図書館でのフォローアップとは、図書館が実施するおはなし会の中に研修生が入って一緒にやるということか、それとも研修生が一から組み立てるのか。

(事務局)

- ・組み立てからボランティアが中心となるが、必ず職員が付く。

(つくしんぼ文庫)

- ・新規ボランティア受入にあたって専門講師を招くことは、これまで要望してきたことの第一歩として評価できるが、1回2時間では短すぎる。
- ・フォローアップについても、いきなり本番ではなく、専門の職員のアドバイスなどが盛り込まれるようにしてほしい。はじめ何回かは見学するなど、もっと中身の濃いものを考える必要がある。

(コアラ文庫)

- ・講座1回2時間の中に「おはなし会とは、子どもとは」といった全ての内容を盛り込むこと

はできない。講師と研修生がやりとりをできる連続講座を最低3回、できれば5回必要である。

- ・講座後に実践となるが、いきなり子どもの前に出るのではなく図書館職員の前でおこない、それをクリアしてから子どもの前に出る必要がある。
- ・予算の問題もあるだろうが、都立図書館職員も公務員なので費用はそれほどかからないはず。
- ・子どもが実践台になることがあってはいけない。

(会長)

- ・いきなり子どもに「聞き手のボランティア」をさせてはいけない。
- ・既存のボランティア団体に所属するならフォローアップは免除とあるが、我々も多摩市立図書館のおはなし会ルールや何を求めているのかを認知する必要がある。
- ・ボランティア団体とも協力しながら大人向けの練習をする等の工夫がいるのではないか。
- ・初級講座は既存団体も全員受講でもよい。

(多摩おはなしの会)

- ・おはなし会ルールチェックリストの内容を知りたいと思った。
- ・初めの一步として図書館の講座があるのは良い。興味があっても機会がなかった方もいるので、1回講座だとしても講座があるということは意味があると思う。

(つくしんぼ文庫)

- ・以前の講座は3回講座で、選書から実践等の説明ののち、最終回はみんなの前で発表をした。

(多摩おはなしの会)

- ・既存団体のベテランの方は、活動の一環として講師のような役割を担い得ると思った。

(文庫連絡協議会)

- ・他の自治体の例として、養成講座が1回きりということはない。
- ・実際のおはなし会を聞くことや、それを受けて本人がよく考えることも勉強である。はじめからうまくできるわけではないので、練習を重ねてから子どもの前に出てほしい。

(コアラ文庫)

- ・できれば5回の連続講座を受けたいうえで、こちらが新規希望者を受け入れるのはあり。

(会長)

- ・講座1回では少ないというのが大多数の意見である。フォローアップは前提としても、講座の内容や研修は再考してほしい。

(事務局)

- ・外部講師を招いた講座を複数回行うのは、諸条件で厳しいと考える。
- ・外部講師による講座は1回とし、フォローアップについて今回出た課題を持ち帰り検討したい。

(会長)

- ・フォローアップの中で、担当職員がついているとはいえすぐに子どもの前に出るのは問題である。1、2年をかけた異なる形のフォローが必要。子どもにボランティアをさせない内容にしてほしい。

(事務局)

- ・フォローアップについて、いきなりおはなし会本番をするのではなく、それ以前のフォローアップ内容を充実させるということていいか。

(会長)

- ・既存のボランティア団体のおはなし会を見学する、打合せに参加するといった段階を踏む必要がある。そのために既存の団体に声をかけてもらって手助けをすることは可能である。

(つくしんぼ文庫)

- ・研修生が実際に読み、それを聞いてもらうことが一番大事である。我々がその聞き手になることもできる。2時間の講座ではそこまでは出来ない。

(コアラ文庫)

- ・受け手が「自分もやってみたい」と思ってもらえればいいが、「難しそう」と思って離れてしまったらよくない。コアラ文庫にも新規活動希望者が来ることもあるが、その後離れてしまうことが多い。「こうすればできる」などの声かけが必要だと考える。

(おはなしチャチャチャ)

- ・おはなしチャチャチャは図書館実施講座を3回受けて結成した。半数以上は経験者だったが、講座後も担当がつくなどして手厚かった。先ほどの意見に合ったように、既存の団体がフォローアップできるのはいいのではないか。

(多摩おはなしの会)

- ・しくみほどではないが、そのような体制がないと語り手がどんどん少なくなってしまう。

(会長)

- ・都立の外部講師について反対はなし。フォローアップについてさらに検討してほしい。

(コアラ文庫)

- ・図書館が最初から講座を1回と決めてしまうことに対し疑問がある。若い人が新図書館に期待して入庁したのに、これまでの積み重ねが継承されていないのが残念。講座を再開するのだから、予算を理由に限界を決めるのではなく、内容をしっかり考えてほしい。

(事務局)

- ・来年度の講座は都立図書館職員であるため予算の問題はクリアできるが、今後も引き続き都立職員に依頼できると確約できないため、講座は年1回しかできない。

(コアラ文庫)

- ・都立図書館は公立図書館の支援が仕事のひとつであるので、交渉の余地はあると考える。

(事務局)

- ・来年度については、講座回数は1回でフォローアップの充実を検討する方向としたい。

(会長)

- ・はじめからベストの形にはならないだろうから、ベターなところから始めてベストに近づけられるよう努めてほしい。

(2) (仮称) 第二次多摩市読書活動振興計画の策定におけるアンケートについて

(事務局)

(資料に沿って説明)

(おはなしチャチャチャ)

- ・資料4-6 高校生アンケートについて、質問15の選択肢に対するふりがなは不要ではないか。

(コアラ文庫)

- ・資料4-4 小学校2年生アンケートには自由記述欄がないが、必要ではないか。

(事務局)

- ・持ち帰り再考する。

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・中高生への質問2「あなたはマンガ、雑誌以外でどんな本を読みますか？」に対する選択肢

の中に「マンガ」と書かれているのはなぜか。

(事務局)

- ・中高生の質問2の選択肢はマンガそのものではなくマンガをノベライズしたものについて聞くものである。
- ・対象①②以外について2月5日(月)まで市民ボランティア連絡会委員から意見を募りたい。対応しきれない点はあるかもしれないが、参考にできる点はしたい。

(コアラ文庫)

- ・資料4-2、3のアンケート回答者の年代として、乳幼児を育てているとは考えづらい年代も含まれているが、それはどういうことか。

(事務局)

- ・年代区分は、一般市民向けアンケートと揃えている。

(3) 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプラン(令和5年度版) 【図書館・関係課分】【多摩市立小・中学校分】について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(会長)

- ・委員各自で確認し、次回の会議で質問とする。

(4) 令和6年度市民ボランティア連絡会の開催内容について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・年間を通してほんともフェスタに関する報告・意見交換が予定されているが、ほんともフェスタは夏に行くという話ではなかったか。

(事務局)

- ・夏のみではなく、夏と春に分散させるものである。分散させても名称は第16回で同じである。

- ・夏はおはなし会と講演会、春は展示やおはなし会、スタンプラリーが中心の内容となる。

(コアラ文庫)

- ・各回の検討事項が多くかつ重要な内容である。しかし会議の場が検討ではなく報告の場になっていて、我々が意見を言っても参考程度にしかならないと感じる。

(文庫連絡協議会)

- ・来年度は第二次多摩市読書活動振興計画があるにもかかわらず、他の議題も含めた会議が3回しか開催されない状況で、我々が話し合う時間はどれだけ取れるのだろうか。
- ・会における我々の役割は何であるのか、決定事項の説明だけで終わってしまうのか。我々の意見が反映されるためには、話し合う時間が少なすぎると危惧している。会議回数を増やす等、委員の考えを言える時間を確保してほしい。

(コアラ文庫)

- ・来年度から策定委員会が立ち上がり、市民ボランティア連絡会からも参加者がいると思う。策定委員会の状況を見て臨機応変に対応できる体制が必要ではないか。

(事務局)

- ・計画策定の進み具合によって、市民ボランティア連絡会開催時期は変更される可能性もある。今回の提案はあくまで時期の目安である。

(会長)

- ・委員からも、この時期に開催が必要だという意見があればそれを伝えることもあると思う。

情報交換及び次回の日程について

次回日程：5月23日（木）13：30～15：30 場所：多摩市立中央図書館 活動室2・3
(計画策定の進捗状況によって延期の可能性あり)

(文庫連絡協議会)

(文庫連だより配付)

(事務局)

(ほんともフェスタ展示物の確認依頼)

閉会